



学びの虹

東京都立鹿本学園 学校通信 令和7年7月18日号

東京都立鹿本学園

校長 堀江 浩子

東京都江戸川区本一色 2-24-11

電話 03-3653-7355

想定外を想定内へ

私達が、考えられる範囲を超えるような事象や経験をしたことがない事象のことを「想定外」と呼んでいると思います。今年、4月、奈良県の中学生6人が部活動中に「急に雨が強くなったと思ったら、いきなり落雷」となり病院搬送・5月、立川市内の小学校で発生した保護者の知人による学校への不法侵入や暴力行為等ありました。前者は、奈良県では雷注意報が出されていたので「想定内」かもしれませんが、学校としては「グラウンドに避雷針が4基あるので生徒達に雷が落ちる」と予想しなかったと推察します。

本校は、このようなことに「本校でも起こりえること」と捉え「想定内」とするよう以下のように努めています。

1 落雷について

落雷チェッカーを配備しました。(①) 知的教育部門が使用する第2プールは、天井を開いて水泳の授業を行うため必ず活用します。先日、水泳指導中、雷鳴が響いたと同時にチェッカーが鳴り中止しました。今後も、校外学習等では持参する予定です。

2 不法侵入について

5月の「学びの虹」に記載したとおりです。

3 暑さ対策について

プールについては、プール内の湿度や暑さを軽減するために、S（肢体）部門では遮光ネット（②）を設置し、今年度は両部門ともミスト付きの扇風機（③）とスポットクーラー（③）を使用し、プール内の湿度・温度を下げています。おかげさまで、昨年度よりプールに入る回数が増えました。

冷房が効きにくく、特別教室での教育活動に御理解いただきありがとうございます。該当する肢体部門及び知的部門の教室は、夏季休業中に修繕する予定です。また、急きょスポットクーラー2台配備（④）しました。9月以降、冷房の効きが悪い場合に、教室に換気ダクトの取付を行って対応していきます。

4 物価高について（特に宿泊にかかわります）

お米や乳製品等の高騰でも質や量を落とさない給食提供に、栄養士さん達は苦労しています。教育活動も同様で、宿泊学習において予定していた経費より高くなったり（宿泊代・観光バス代）、今までの請求がされなかったのが請求されたり（会場費・大浴場の貸切）と、今後も経費の値上がりが予想されます。

「宿泊は、全員が参加できる」ことが大前提です。従って、「宿泊の場所や行程等は、子供達の障害の状況で左右されないこと・適正な予算内であること」が必須となります。今後、検討していきます。

※ 最後に、一部ではありますが保護者様にとって「想定外」と思われることが散見した学期でした。号外の学びの虹を出させていただきましたが、放課後等デイとスクールバスの乗車まちがい・お子様の物品等の取り違い・置き忘れ等がありました。これらの原因で主なものが、教員の「思い込み」です。担任だけの問題として片づけるのではなく、学年や学習グループの問題として捉え、有効な改善策を図るよう徹底してまいります。1学期ありがとうございました。よい夏休みをお過ごしください。

鹿本学園校長 堀江 浩子

① 落雷チェッカー



② 遮光ネット



③ ミスト付きの扇風機



④ スポットクーラー2台



～訪問学級紹介～

肢体不自由教育部門訪問学級には、10名の児童・生徒が在籍しています。1回2時間を標準として、週3回を上限に、各御家庭へ訪問して授業を行っています。国語・算数/数学（読み聞かせやパネルシアター、タブレット端末を使用した学習）、音楽（歌遊びや楽器を使った活動）、図画工作/美術（感触遊びや制作活動）等の教科学習、自立活動（身体への取り組み等）、生活単元学習（季節や行事に沿った単元）等、御家庭の御協力のもと、一人一人の健康状態や課題に応じ、一対一で学ぶことができる良さを活かして取り組んでいます。

訪問学級の担任は、毎週の訪問担任会で様々な情報交換をし、児童・生徒のことや授業内容について多角的な視点をもつように心がけています。先日の担任会では教材紹介を行い、スリットドラムという楽器の音色や演奏方法についてみんなで確認し、早速、いろいろな御家庭での授業に使用しています。児童・生徒が所属する学年やグループの学習内容を把握し、時には教材を借りて、通学生と同じ学習をすることもあります。スクーリングやオンライン学習で、学校の友達と共に集団学習をすることもあります。学期の節目の始業式や終業式では、校長先生が訪問学級のためだけに動画を撮って、やさしく語りかけてくれます。このように、訪問授業で御家庭に伺うのは一人の教員ですが、そこには多くの教員の訪問学級への支えがあり、授業内容が豊かに広がっています。本校S棟1階の100m廊下に、訪問学級の児童・生徒の作品を掲示しています。ぜひ、御覧ください。

S 部門 訪問学級担当：下田 恵子

～副籍交流について～

いつも副籍交流に御理解、御協力いただきありがとうございます。

今年度の交流の状況については以下のとおりです。

	児童・生徒数	交流形態		地域指定校数		
知的障害教育部門	362名	直接交流	47名	江戸川区	小学校	51校
		間接交流	56名		中学校	15校
肢体不自由教育部門	105名	直接交流	23名	葛飾区	小学校	3校
		間接交流	23名		中学校	1校

交流はお子さんも保護者の方も楽しみでありながら、不安や緊張もあるかと思います。少しでも安心して楽しく交流を行うことができるよう、担任も特別支援教育コーディネーターも協力いたしますので、心配なことがありましたらお気軽にお知らせください。お子さん、保護者の方の思いに寄り添った活動ができるよう、地域指定校とも相談しながら交流の形を検討していきましょう。

年度末には「しかもとの副籍」で交流内容を御報告いたします。今後の交流希望について御検討される際にお役立てください。

サポートデスク副籍交流担当

